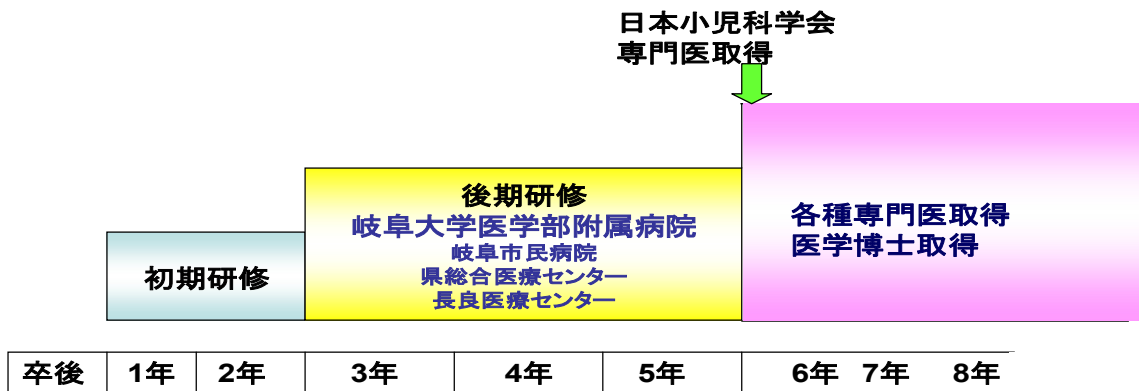


小児科専門医養成コース

(1) コースの全体像

人間性豊かで、幅広い知識と奥深い思考力を有し、的確な判断力により医療を展開できる小児科医師を育成することを目標とする。研修内容は小児科専門医取得に十分な研修内容であり、小児科 General と Speciality の両方（小児一般、感染、アレルギー、免疫、循環、新生児、遺伝、血液、神経、放射線、消化器、呼吸器、救急、ER など全てを網羅）を同時研修できる。

岐阜大学医学部附属病院小児科専門医養成コース



(2) コースの概要

大学病院・医療機関名	診療科名	専門分野名	指導者数	目的	養成(受入)人数	期間
岐阜大学病院	小児科	小児アレルギー・免疫・血液・神経・遺伝など	20	アレルギー・免疫・血液疾患をはじめとする一般小児科研修	6名	1～5年
岐阜市民病院	小児科	小児血液	3	血液疾患をはじめとする一般小児科研修	2名	1～5年
岐阜県総合医療センター	新生児科	新生児	6	新生児の集中治療管理を研修する	1～2名	1～5年
岐阜県総合医療センター	小児科	小児神経・感染症など	3	小児神経・感染症をはじめとする一般小児科研修	1～2名	1～5年
岐阜県総合医療センター	小児循環器科	小児循環器	4	小児循環器疾患をはじめとする一般小児科研修	1～2名	1～5年
独立行政法人国立病院機構長良医療センター	小児科	新生児・小児神経・感染症など	5	新生児・小児神経・感染症をはじめとする一般小児科研修	2名	1～5年
				受入人数	6	1～5年

(3) コースの実績

小児科にて取得可能な専門医として、日本小児科学会専門医、日本アレルギー学会専門医、日本小児神経学会専門医、日本血液学会専門医、日本人類遺伝学会専門医、日本小児循環器学会専門医などがある。ほぼ、希望に応じた分野の専門医取得が可能である。また、大学院に入学し、学位取得をめざす研修医もいる。社会人大学院生として、関連病院に勤務しながら、学位取得をめざすこともできる。

(4) コースの指導状況

さまざまな領域における充実した指導陣のもと、小児科疾患のすべての分野の疾患に対して研修医を指導している。知識やスキルアップのためにカンファレンス、レクチャーを充実させており、能動的な研修をめざしている。

(5) 専門医の取得等

学会等名	日本小児科学会
資格名	小児科専門医
資格要件	初期研修終了後、3年間の小児科研修を修了し、専門医試験を受験する
学会の連携等の概要 岐阜大学医学部附属病院、岐阜市民病院、岐阜県総合医療センター、長良医療センターは学会認定の研修施設である。	

学会等名	日本小児神経学会
資格名	小児神経専門医
資格要件	5年以上の日本小児神経学会の会員歴を有し、学会が認定した小児神経専門医研修施設などで診療に従事し、小児神経疾患患者症例要約などの必要条件を満たし、専門医試験を受験する
学会の連携等の概要 岐阜大学医学部附属病院・県総合医療センターは日本小児神経学会認定の専門医研修施設である。関連施設として、長良医療センター、大垣市民病院、希望ヶ丘学園など多くの神経発達専門施設がある。	

学会等名	日本人類遺伝学会
資格名	臨床遺伝専門医
資格要件	認定研修施設において、臨床遺伝学の研修を3年以上行い、認定研修施設に所属する指導医の指導を受けながら、遺伝カウンセリングを含む遺伝医療を実践し、その他の必要条件を満たした上で専門医試験を

受験する

学会の連携等の概要

岐阜大学医学部附属病院は日本人類遺伝学会認定の専門医研修施設である。